

## 4. ふりかえりシートのまとめ

### Q1：全体の満足度

**平均値 4.24** ※数値未記入1名分は含まず。

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1 として算出)

### Q2：Q1でそう思った理由は？

#### ■とても満足した（12名）

- ・さまざまな方に出会えた。
- ・いろいろな立場の方が参加した。
- ・さまざまな業種の方と交流できたこと。
- ・いろいろな人を集めてくださったことに感謝しています。
- ・多種多様な意見を聞いたこと。
- ・たくさんのご意見を聞きました。
- ・たくさんの方とお話しすることができるプログラムで、新潟の課題や魅力をたくさん知れたから。  
(正直、もっと長くお話ししたかったです！話しきれません(笑)。)
- ・グループを替えて多くの方々と話げできた。
- ・自分の意見を言う場があったこと。
- ・話がまとめられた。
- ・知識が増えた。
- ・外国人にも理解しやすかった。
- ・進行がスムーズ。
- ・進行がgdらなくてよかった。(注：原文のまま)
- ・メンバーのレベルの高さ。

#### ■満足した（17名）

- ・いろいろな立場の人、特に若い人の声を聞くことができた。
- ・多様な人に話を聞いて良かった。
- ・いろんな人の意見を聞いたから。
- ・いろいろな人の意見を聞いて良かった。
- ・久しぶりにいろいろな人たちと関わり、意見を聞いて勉強になりました。
- ・外国からの目線で話を聞くことができた。もっと他の人とも話してみたくなりました。
- ・さまざまな立場の方がいて、とても楽しかったです。みなさん思っていることがあり、聞いてよかった。
- ・さまざまな立場の人たちとディスカッションできた！
- ・いろいろな職種や年代の方と意見を交わらせてよかったです。
- ・普段の生活では出会えない年齢・性別・職業の方とお話を行うことができた。
- ・3回に分けて席替えをすることで、いろいろな人のいろいろな意見が聞けた。

出された意見のまとめ

- ・さまざまな方々とお話ができ考えを聞けたこと。同じ思いを共有できたこと。
- ・多様な意見が出た。いろいろな立場の人の意見は貴重だった。
- ・(英文より)自由に意見や関心ごとを共有できたので、とてもいい経験になった。
- ・(英文より) グループメンバーのバックグラウンドの違いに関わらず、相互理解があった。
- ・たくさんの人と話げできたので。
- ・たくさんの人と話したかったのに、ホストになったため。やはりファシリテーターがいるほうが話しやすかったように思う。
- ・コミュニティという大きな課題なんだと感じた。
- ・スタッフの方が多く、優しい方が多くいらっしやったので、楽しく活動できました。

■普通（4名）

- ・もう少しいろいろな人と意見を交換したかった。
- ・問いが大きすぎたから。
- ・このワークショップの内容が果たして総合計画に反映されるのか疑問なので、モチベーションが湧きにくい。
- ・運営スタッフが常にテーブルに張り付いている（会話に入ってくるわけでもない…）こともあり、スタッフの中で対応にバラツキがある。

■数値未記入（1名）

- ・同じ意見が出やすい環境になりがちかな？と思いました。テーブルごとに課題が異なっても良いかも！？と思います。

Q3：ワークショップへの期待（複数回答）

- ①参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること 22
- ②様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること 24
- ③まちづくりに関して自分の意見を発信できること 15
- ④地域へ関わる一つのきっかけとなること 15
- ⑤その他 2
  - ・化学反応があることにも期待！
  - ・自分とさまざまな人との知識と経験の可能性

Q4：ワークショップでの気づき

- ・起業に至る道程。出会いの場があれば、若者の気持ちや情報提供できること。
- ・新潟市の魅力、若い人の熱い思い、新潟を好きな人の多さ。
- ・公共交通への不満。
- ・障がい者などへの環境整備。
- ・視点の違う意見で視点の替え方、多方面から見る方向。

- ・同じまちに暮らす人々の多様性。
- ・自分の住んでいる街を私自身が知っているのか？愛しているのか？自分に問いかけるきっかけになった。
- ・昭和戦後のコミュニティと、現在のコミュニティの差が大きくて痛感した。
- ・移住者の方が多い町なんだなと思いました。
- ・新潟には高齢者、障がい者、外国人が気持ちよく住み続けるにはまだまだ課題がある。
- ・自分がこれまで感じていた新潟の魅力をうまく伝えられていないもどかしさ、公園やコミュニティの乏しさなどは多くの人が感じていたことであり、主体的に取り組むべきである。
- ・県内に長く住んで県外に出たことがない人の意見（マイナスの意見）と、県外や国が違う方々が選択して新潟に住んでいる意見（プラスの意見）がこんなにも違うことに驚きました。
- ・普段関わるのが難しい人たち（年代・職種・国・障がいの方々等）とお話しでき、自分の視野の狭さに気づかされました。
- ・どうしたらまちは良くなるのか、他人の意見は非常に参考になりました。
- ・まちづくりに対する多種多様な視点。
- ・新潟市の魅力。
- ・移住者もリターン者も新潟に住み続けたいと考えていること。同時に「寂しい」と感じていること。
- ・その人の環境や立場が違っていると、ひとつの事柄に対して感じ方や意見が違うことがわかって良かった。
- ・新潟はみんなのまち！
- ・多方面の意見は学びがあります。
- ・外国の人たちも新潟に住むこと、働くことの大切さに気づいた。
- ・意外とみんな同じようなことを考えている。
- ・コミュニケーションが少ない新潟市。
- ・いろいろな想いを持った人が多いこと。それを言える場が少ないこと。
- ・同じ思いを持った方々が、年代や職業に関わらず多かったこと。
- ・ワークショップが楽しい！ということ。
- ・良いところもあれば、悪いところもあると気づいた。
- ・新潟の眠っている魅力→出し方
- ・内容を充実させるために、課題の深掘りが必要かと感じました。
- ・三人寄れば文殊の知恵。
- ・出てみたからこそわかること、住まなきゃわからないことがあることを気づきました。
- ・年代によって、その人によって、いろいろな意見があるんだなあと。これをまとめるのは大変だなあと。
- ・他の業種の方が感じている視点を知れたこと。
- ・新潟には魅力があり、まだ伝えきれていない。
- ・長岡市がとても成長していて、新潟市は変わらない。むしろ後退していることを知ることができました。
- ・新潟に住む人がそれぞれの感じる新潟をもっと発信し、気づき、知り合う必要がまだまだある。

- ・いろいろな考えと新潟への愛を感じました。
- ・(英文より) 誰もが新潟の発展のための意見を共有しようとしていたので、心地よかった。

#### Q5：ワークショップで嬉しかったこと・残念だったこと

##### ■嬉しかったこと

- ・最後の発表で、グループ全体で考え発表できたこと。
- ・高校生の参加が嬉しかった。
- ・相手の話を聞き、自分の考えを話し、交流する楽しさ。
- ・市民のみなさまの考えが知れたこと。
- ・横のつながりができたこと。
- ・自分の住む町をあらためて考える良い機会でした。
- ・参加者のみなさん、スタッフのみなさんが笑顔で優しく話してくださり、また、高校生の私でも対等にお話ししていただいて嬉しかったです。
- ・自身が活動している公園利活用事業での交流は、みなさん重要であると思っ  
ていてくれたこと。
- ・新たなつながりができた。
- ・10歳代～60歳代、障がい者、外国人、LGBTsなど多様な人が集まった。
- ・特になし。
- ・多くのことを聞けて、多くの方と出会ったこと。
- ・障がいや外国人の方のリアルな声。
- ・公共交通機関の必要性に対する意見が予想より多かった。
- ・人と人のつながりができたこと。
- ・参加したからこそ出会えた人たちがいたことが何よりも嬉しい。
- ・初めましての方々とざっくばらんに意見交換ができたこと。
- ・ふだん会うことのできない多様な経験を持つ人々の話。
- ・新潟、市に対して興味がある人が多いことに気づけて良かったです。
- ・こういう場に参加できたことはいい経験になりました。
- ・この前のワークショップの方にまた会えたこと、知り合いに会えたこと。
- ・新潟のいいところを知れたこと。
- ・いろいろな意見が聞けたことが嬉しかった。違う意見もありますが、みんな新潟市をより良くするために必要だと思いました。
- ・自分の抱えている住みにくさを伝えられたこと。
- ・Q2と同じ(さまざまな立場の方がいて、とても楽しかったです。みなさん思っていることがあり、聞けてよかった。)
- ・たくさん意見が聞けたこと。
- ・いろんな部分で自分が知らないことがまだ多いということに、あらためて気づくことができた。
- ・いろいろな人に会えたこと。
- ・(英文より) 多様な人たちに出会えた。

##### ■残念だったこと

- ・時間がもう少し欲しかった。

- ・時間が足りなかったです。テーマが一つ一つ重く大きいので、設問を少なくしても良いのではないかと思います。もう少し早く今回のワークショップの資料をいただけたら、テーマを自分の中で深く考えてくることができたのではないかという点が残念でした。
- ・残念ではないが、もっと長くあってもよかった。
- ・もう少し時間があると良かった。具体的にどうすればいいというところまで深めていきたかった。
- ・議論が少し観念的に流れた。新潟の問題点、悪いところ、嫌いなところも掘り下げてよかった。(産業、教育面の遅れをどうするか、男女不平等など)
- ・違う方向性での意見。テーマを一つにすると良いのでは？
- ・たくさん自分の主張と意見も話し合いたかった。
- ・テーマに「課題発掘」的なものがなかった。
- ・もっと移住目線の話ができれば良かった。
- ・強いて言えば、厚着の心配がいらなかったこと。
- ・発表をうまくできず、他の方に助けを求めてしまったこと。
- ・テーマに沿っていない話についついなってしまうこと。
- ・飲み水(ペットボトル)がほしかったです。
- ・(英文より)水やスナックがなかった。
- ・(英文より)休憩時間がとても短かった。

#### ■併記

- ・こういった市民の意見が市政に反映されて生活が改善されれば嬉しいですし、そうならなかったら残念です。ワークショップは過程でしかないので、結果を見ないとなんとも言えません。

#### Q6：まちづくりや市政への関心

- ・教育水準の向上、産業振興による新潟の拠点化。暮らしやすいまちだがそれだけでは他の地域から人をひきつけ呼び寄せることができない。
- ・教育
- ・教育、特に食育について、幼保と小学校の給食の無料化とオーガニック食材の活用促進で子どもたちの貧困や飢餓をなくし、新しい人材を育てることで生産人口を増やし100万人都市にしてほしい。
- ・子育て、教育。新潟市に住んでいる子どもたちが、未来、楽しんで新潟で生活してほしいから。
- ・長期的には教育！共生社会の先進へ。
- ・若い人たちへの投資。
- ・若い人を新潟に呼び込む、引き留める力を創り出すこと→当事者として関心があるから。Uターン、Iターンで新潟に来る人を増やしたいから。
- ・子育て、移住、まちづくり、防災などデザイン面からのアプローチやPRなど。
- ・(暮らし、子育て、これからに)関わることなので、これからどうなっていくのか情報発信してほしい。
- ・良いところがたくさんあるので、もっとアピールした方が良い。

出された意見のまとめ

- ・弱者に対するまちづくり。
- ・新潟市が弱い人たちにどれだけ目を向け声を聞いてくれるか。現在は、声を聞き目を向けていると感じられないから。
- ・LGBTsの情報や支援、Noism・古町芸妓さんなど芸術面の支援(補助金の制度)について。
- ・異文化理解。
- ・ゼロカーボン、脱炭素
- ・エネルギー(カーボンニュートラル)
- ・ウォークアブルなまちづくり。移動手段、道路空間の利活用の変化。
- ・にいがたユニバーサルまちあるきのとき、いろいろな気づきがたくさんあったから。
- ・自然、公園などの活用。
- ・人々が楽しいこと、楽しく思えること。
- ・住んでいるのもっといい町、暮らしやすい町にしたい。
- ・福祉と観光。
- ・農業、福祉。
- ・今日参加するまでは特に関心がなかった。これを機にどんどん関わっていきたいと思った。
- ・新潟市としてのまちづくりの方針→どこを目指しているのか知りたい。皆で同じ目標に向かってまちづくりをしたい。
- ・都市づくりや建築系の政策が多すぎないか?生活、国際政策にも注力を。
- ・市政に携わる方たちが「変えていこう」という勇気を持って働いているのか気になります。
- ・今なにをやりたくて目標にしてやっているのかが伝わってきていない印象があるので、そこをどうPRしていくのか期待します。
- ・政策決定のプロセス。
- ・ざっくりでいいので、何にどれくらいのお金がかかっているのか興味があります。
- ・ペーパーレスになってほしい、なっているかな?と気にしています。
- ・地域の枠、行政の枠を超えた活動がもっと必要になると思います。よろしくをお願いします。
- ・役所のスタッフが優しくなった。
- ・(英文より)主催者はこのような機会をよくやっていると思う。

Q7:その他、気づいたことなど

- ・こういった機会はもっとあっても良い。例えば、本日が「発散」であれば次回は「集約」するなど。
- ・今回のようなワークショップをまたやってほしい。多くの人に参加してほしいと思った。
- ・もっとさまざまな課題を発掘した骨格のしっかりした長期計画を考えてほしい。
- ・いろいろな人の立場からいろいろな意見が聞けて良かった。知り合うきっかけ、イベント情報を得る機会が増えることがまずは第一歩だと思う。

- ・新潟にはまだまだたくさんの可能性が眠っているのですが、それを知る機会をもっと作り出すことが大切だと思いました。
- ・市も県も他県より遅れていることが多いので、どんどん新しいことをやってもらいたい（真似事ではなく）。
- ・このみなさんの意見をもとに、素敵な新潟市になってほしいです。
- ・もっと人材活用してほしいです。所在地が東京だから、と断りが入る行政の見直しもしてほしいです。
- ・子どもたちの医療や教育にかかる費用を社会として負担することで、子どもたちの貧困をなくし、障がい者も含めた多様な人が安心して働ける環境をつくるのが重要だと思います。まずは食育を目的として、幼保小の給食の無料化と安心安全の食材の利用を行ってもらいたい。新潟の豊かな自然環境を活かした食材をぜひ利用してほしいです。
- ・今回、障がい児を育てている親の団体として参加させてもらい、子育てのしづらさや困り感を伝えられたが、こういう機会がないと逆に市に届けられないと思うと、もっともっというろいろな人の声を聞いてほしいと思います。福祉を必要としている人たちが住みやすく、安心安全な町になってこそ、それを取り巻く方々みんなの住みやすさが生まれるのではないのでしょうか？今日はありがとうございました。
- ・新潟市内にイエナプランスクールをつくってほしいです！
- ・参加者全員が見える（その人を知れる）ようにしてほしい。
- ・せっかくいろんな人と知り合えるのに、最初に知り合いがいる席に行くのは新潟県民らしいですね。リーダーも固定化してる気がします。
- ・運営のみなさん、おつかれさまでした！新潟市政策企画部のみなさんもオブザーブでなく、一緒にワークしましょう！
- ・スライド資料の文字化はすばらしく良かった！
- ・楽しかったです。
- ・楽しい会でした。今後ともよろしく。
- ・初めて参加しましたが、すごく興味深いお話が聞けて充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・自分にできることがわかってきた気がします。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。